広報 ひがしくるめ
平成19年（2007年）4／15号
No.957
発行／東久留米市 編集／企画経営室広報課 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1 ☎042・470・7777（代） ホームページ http://www.city.higashikurume.lg.jp/ 毎月1日・15日発行

19年度予算が成立

19年度予算が3月27日、市議会第1回定例会にて可決成立しました。一般会計予算額は、337億5300万円（前年度比4・7パーセント増）となりました。一般会計予算額に、国民健康保険、老人保健、介護保険、下水道事業、受託水道事業の5特別会計を合計すると616億6177万円（前年度比4・4パーセント増）となりました。

国の経済は、企業部門の好調さから景気回復基調にありますが、引き続き、財政構造改革は加速させる考えを示し、地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しさを増していくものと考えられます。こうした中でも、市民生活に直結する課題について積極的な取り組みを行いながら、安定した行政サービス水準を確保し続けるために、今後も国の動向等を的確に捉え、市の将来を見据えた上で、さらなる行政の効率化を図っていかなければなりません。市民の皆さんのご理解をお願いします。

詳しくは財政課☎470・7706へ。

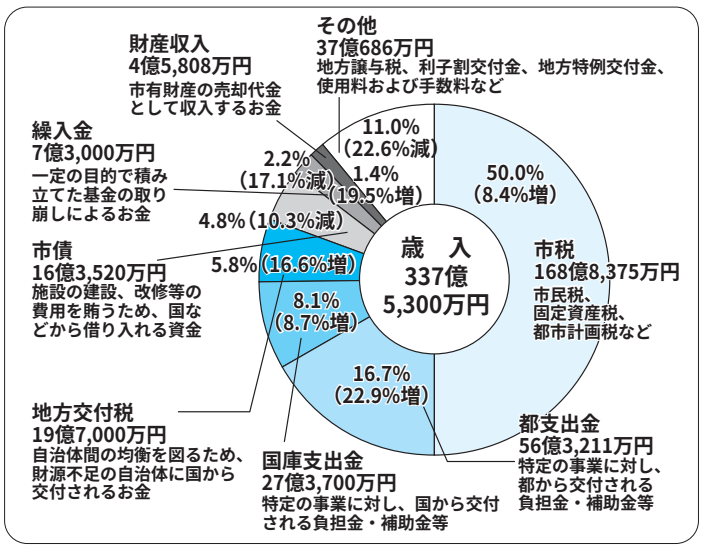
■一般会計・歳入

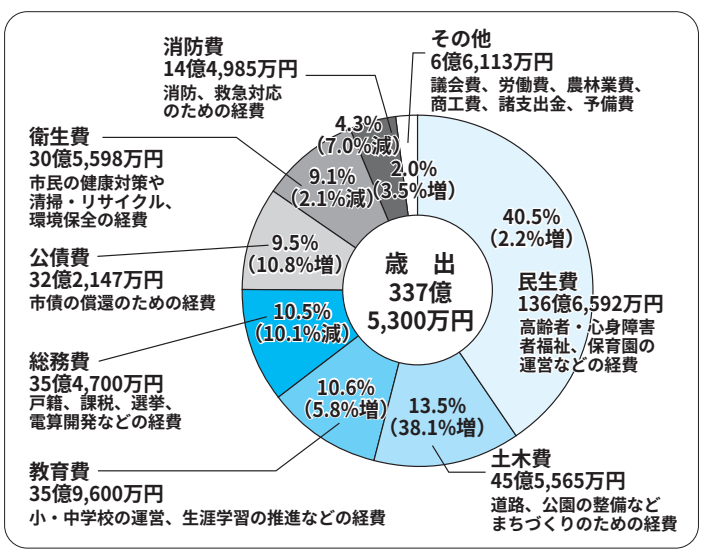
歳入の根幹である市税は、税源委譲や定率減税の廃止など税制改正の影響で、昨年度と比較すると8・4パーセント増を見込んでいます。

しかし一方では、所得譲与税、住民税等減税補てん債が廃止され、地方特例交付金、臨時財政対策債なども減少となる見込みです。

このような歳入の変動が激しい状況においても、山積みする緊急的・臨時的な課題について可能な限り対応していくため、家計の貯金に当たる財政調整基金から5億円の取り崩しを予定しています。

また、財産収入として、福祉会館用地、駅東口第二土地区画整理事業における残地の売り払い収入を見込んでいます。





おことわり　各表の数値は端数調整のため、実際の予算額と一致しない場合があります。

19年度　東久留米市当初予算

会　計	19年度	18年度	増減率
一般会計	337億5,300万円	322億3,800万円	4.7%
国民健康保険特別会計	116億7,712万7千円	103億7,964万7千円	12.5%
老人保健特別会計	74億3,040万2千円	75億3,804万3千円	△1.4%
介護保険特別会計	50億1,483万2千円	47億5,816万4千円	5.4%
下水道事業特別会計	34億3,450万9千円	35億1,270万2千円	△2.2%
受託水道事業特別会計	3億5,190万円	6億2,710万円	△43.9%
合　計	616億6,177万円	590億5,365万6千円	4.4%

■一般会計・歳出

歳出予算については、限られた財源を有効に活用するため、行政評価を反映させた施策別枠配分方式により編成しました。これは、各担当部が配分された財源を踏まえ、現場の実態に即しながら、不要不急なものを排し、自立的な予算編成に取り組んだ予算です。

特に、重点施策として「快適な道路の整備」「子育て支援の推進」「義務教育の充実」「商工業者への支援」を位置付け、限られた財源を優先配分しています。

目的別では、急激な少子高齢化への対応から、民生費の割合が全体の40・5パーセント、次いで土木費が13・5パーセント、教育費が10・6パーセントを占めています。

19年度の主な事業

（新は19年度新規事業）

☆市民一人ひとりが共につくるまち

協働のまちづくりの推進▽地域コミュニティの振興▽男女共同参画事業の推進

☆水と緑を守り育てていくまち

新環境基本計画の推進▽森の広場事業▽湧（ゆう）水地の調査▽新緑の基本計画見直し策定▽緑化の推進▽雨水貯留浸透施設設置に対する補助

☆子どもがのびのび心豊かに育つまち

児童手当（新乳幼児加算）・児童扶養手当等▽乳幼児医療費助成（新所得制限枠撤廃の拡大、4歳未満児まで）▽新義務教育就学児医療費助成▽私立幼稚園等園児保護者負担軽減事業▽幼稚園等就園奨励費補助事業▽ファミリー・サポート・センター事業▽新母子家庭自立支援給付（自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費）▽子ども家庭支援センター事業▽新学童保育所改築工事（小山・南町）▽新認証保育所110番通報装置設置事業費補助▽新認証保育所サービス第三者評価事業費補助▽私立保育園・保育室・認証保育所・家庭福祉員の支援の充実▽乳幼児健康診査事業▽新生児訪問事業▽育児相談事業▽予防接種事業▽新小・中学校暖房機の更新▽本村小学校大規模改造工事（東校舎棟）▽神宝小学校プール改修工事▽東中学校プール改修工事▽小学校給食棟防火区画改修工事（第五小・第九小・神宝小）▽小学校給食ボイラーの更新（第五小・第七小・第九小）▽小学校給食牛乳保冷庫の更新（第一小ほか7校）▽新特色ある教育活動推進事業補助▽新学校ピーアールポスター作成▽新学校理科支援員配置事業▽学校教育サポート事業▽小・中学校体力調査▽小・中学校学力調査▽小学校英語活動事業▽中学校スポーツ大会の実施▽多摩・島しょ子ども体験塾の実施▽ブックスタートの実施

☆だれもがいきいき幸せに暮らせるまち

シルバーピア事業（リベーレほんむら、前沢都営住宅、柳窪都営住宅等）▽認知症高齢者グループホーム事業▽介護予防・生活支援事業▽自立支援給付（障害者のサービス、居宅・施設）▽新地域生活支援事業（移動支援・相談支援・日常生活用具の給付等）▽新わかくさ学園設計委託▽在日外国人無年金者福祉支給金の実施▽基本健康診査事業▽健康増進事業▽新後期高齢者医療制度事業

☆豊かな出合いでにぎわうまち

地域産業振興事業▽新「新たな産業のあり方」調査事業▽新魅力ある都市農業育成対策事業補助▽市民農園の整備▽体験型農園事業▽新・元気を出せ商店街事業補助▽新商店街活性化対策事業補助▽新（仮称）南部運動広場の整備および開設▽新テニスコート改修工事（小山・神山堂阪公園）▽新東京国体準備委員会補助▽わくわく健康プラザ内の郷土資料室整備および公開▽新公民館空調設備設計および改修工事▽新公民館外壁改修工事▽生涯学習施策▽インターネットによる公共施設予約サービスの提供

☆快適な都市環境が整ったまち

防犯活動の推進▽防災倉庫の整備▽新地域防災計画の修正▽公園ふれあいボランティアの支援▽みちづくり・まちづくりパートナー事業（都市計画道路東3・4・19号線整備）▽市道110号線整備事業（都市計画道路東3・4・18号線整備）▽駅東口第二土地区画整理事業▽新滝山公園便所改修▽新河川保全工事▽道路舗装改修工事▽道路排水施設整備▽市道整備（209号線、2161号線、224号線）▽新私道整備▽公共下水道（汚水・雨水）の整備▽ごみ減量・リサイクル事業の推進▽容器包装その他プラスチックの分別回収リサイクル▽交通安全施設の整備▽放置禁止区域における自転車等駐車場対策▽防犯灯の整備▽消防ポンプ自動車の更新

☆基本構想実現のために

基本構想＝行政評価と計画策定の有機的連携▽行財政改革の推進＝行財政体質改革事業▽新情報化の推進＝医療制度改革に伴うシステム改修

19年度予算の使い道
（一般会計・市民一人当たり）

高齢者、障害者福祉に	24,669円
保育園の運営など子育て支援に	50,844円
生活保護・災害援助に	17,934円
国民年金、戸籍、住民記録に	2,720円
庁舎管理、電算管理など市の総合的運営に	22,424円
市税を集めるために	4,588円
選挙に	1,450円
市議会の運営に	3,036円
健康づくりや環境保全に	9,251円
ごみ処理・リサイクルに	17,486円
産業振興、勤労者福祉に	1,700円
農林業の振興に	786円
市道・河川の整備に	8,585円
街路・公園の整備など街づくりに	19,313円
消防、防災対策に	13,053円
小・中学校、市立幼稚園の運営に	19,052円
生涯学習の推進、公民館の運営に	2,646円
図書館の運営に	3,144円
スポーツ振興に	2,148円
その他の教育関係に	4,471円
市債の返済に	28,185円
特別会計の財源補てんに（繰出金）	37,557円
その他の費用に	262円
合　計	295,304円

※19年3月1日の人口114,299人を基に計算。